

あすチャレ！School が行われました！

令和元年 11 月 13 日(水)の午後、車椅子バスケットボールを体験する、「あすチャレ！School」が行われ、中学 1 年生が参加しました。

この企画は、日本財団パラリンピックサポートセンターが全国の小中高校で実施しているもので、高志高等学校同窓会の第 40 回卒業生の皆さんからのプレゼント企画として開催する運びとなりました。

講師は、バルセロナ大会（1992 年）からアテネ大会（2004 年）までの 4 大会においてパラリンピック車椅子バスケットボール日本代表として出場した神保康広さんでした。

「皆さん、こんにちは！今日は僕のことを『神保先生』ではなく、『ジンちゃん』と呼んでください！では、盛り上がっていきましょう！」の一声でスタートしたプログラムは、生徒の驚きあり、笑いあいの楽しいものになりました。

ジンちゃんによるデモンストレーションの後、生徒による 5 対 5 の体験ゲームが行われました。生徒たちは競技用車椅子の操縦のコツをすぐにつかみ、積極的にシュートを放っていました。サプライズとして行われた同窓生や教員による体験ゲームも行われました。

最後に行われた、ジンちゃんの講演では、車椅子バスケットボールとの出会いから、様々な経験を積んで今日に至るまでのエピソードを話していただきました。生徒たちは、次のような感想を述べていました。

- 障がい者の方も、健常者の方も、どの人でも楽しめる「スポーツ」はすごいなと感じました。
- 神保さんが「成功か失敗かでなく、やるかやらないか」とおっしゃっていたので、私も何かやりたいことができたなら「やってみる」ことを大事にしたいです。
- 「今、自分が健康であることは当たり前ではないんだ」と思い、自分の体を大切にしていこうと思います。
- 私は失敗をそのままとらえ、落ち込んでしまうし、ネガティブに考えてしまうのですが、今日のお話を聴いて、少しでも前向きな考え方をしたいと思いました。



パラリンピックサポートセンターや第 40 回卒業生の皆様、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。